



メールボックスのサイズの管理

- [87 ページの「メールボックスのサイズについて」](#)
- [88 ページの「メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由」](#)

メールボックスのサイズについて

メールボックスが一杯になっていると、Cisco Unity Connection がメッセージを処理するスピードに影響を及ぼす場合があります。電話機を使用してログオンするとき、メールボックスが次の状態の場合は、Connection によって通知されます。

- ほとんど一杯である。
- 一杯であり、新しいメッセージは送信できない。
- 一杯であり、新しいメッセージは送信も受信もできない。

メールボックスの容量制限は、Connection 管理者により設定されます。その制限を超過すると、メッセージを送信および受信できなくなる場合があります。



(注)

ブロードキャストメッセージはメールボックス全体のサイズに含まれません。

メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由

この項では、Cisco Unity Connection のメールボックスが予想よりも早く一杯になってしまう場合に考えられる原因について説明します（メールボックスのサイズは Connection 管理者によって指定されます）。

メッセージ保存ポリシーが適用されていない可能性がある

Connection のデフォルト設定では、一定の経過時間に達した場合にメッセージを自動的に削除することはありません。つまり、Connection 管理者がメッセージ保存ポリシーを適用するようにシステムを設定しない限りは、ユーザ自身が定期的に関済済みメッセージを確認し、メッセージを移動、アーカイブ、または完全に削除することによって、メールボックスのサイズを管理する必要があります。

メッセージ保存ポリシーを適用するように Connection が設定されている場合は、Connection 管理者に、メッセージが完全に削除されるまでの期間を確認してください。これにより、あらかじめ重要なメッセージをアーカイブまたは移動しておくことができます。Connection は、メッセージ保存ポリシーが適用されることを通知しません。また、このポリシーを実行した結果、メッセージが完全に削除されることも警告しません。

不達確認がメールボックス全体のサイズに含まれる

送信済みメッセージの不達確認（NDR）を受信した場合、特に元のメッセージに大きなファイルが添付されていると、メールボックスのサイズはすぐに大きくなります。

メッセージの転送時に元のメッセージがメッセージ全体のサイズに含まれる

転送の繰り返しによってサイズが増えたメッセージを受け取る場合があります。元のメッセージと、転送時に追加される音声コメントが、メッセージ全体のサイズです。このため、保存しているメッセージ数が比較的少なくても、メールボックスの制限を超えてしまうことがあります。